

# 令和7年度病害虫発生予察指導情報

( ナシ・ハダニ類 )

令和8年1月23日  
鳥取県病害虫防除所

## 1. 情報の内容

- (1) 県内巡回定点におけるカンザワハダニの越冬量は、1バンドあたり平均0頭（平年：0.8頭）で平年に比べて少ない。
- (2) ナミハダニの越冬量は、1バンドあたり平均0頭（平年：0.2頭）で平年に比べて少ない。
- (3) クワオオハダニの越冬卵数は、一部で密度の高い園があり、1短果枝当たり5.7個（平年：2.2個）で平年に比べてやや多い。

表1 ナシにおけるハダニ類の越冬量

調査地点		カンザワハダニ（成虫）*			ナミハダニ（成虫）*			クワオオハダニ（越冬卵）		
		本年	前年	平年**	本年	前年	平年**	本年	前年	平年**
東部	鳥取市 佐治町	0	0	0	0	0	0	32.8	0.1	12.3
	鳥取市 青谷町	0	0	0	0	0	0	0.5	0	2.7
	八頭町	0	0	1.6	0	0	1.2	15.3	0	0.2
中部	倉吉市 中野	0	0	0.1	0	0	0	0	0	0.2
	湯梨浜町 別所	0	0	0.9	0	0	0.1	0	0	0.2
	北栄町 由良宿	0	2.2	0.4	0	0	0.1	0	0	0
	琴浦町 竹ノ内	0	0	0.1	0	0	0.1	2.3	0	0
西部	大山町 松河原***	0	14.0	4.7	0	0	0	0	11.3	3.8
	南部町 朝金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県平均		0	1.8	0.8	0	0	0.2	5.7	1.3	2.2

\*：カンザワハダニ、ナミハダニはバンドを回収後、恒温器室内（23℃設定）で1週間程度観察し、種類を判断した。

\*\*：調査地点により調査年数が異なるため、H27～R6の期間のうち3年以上（最大10年）の調査結果をもとに平年値を算出した。

\*\*\*：令和4年度調査地点変更

調査方法：9月24日に紙バンドをほ場に設置。園あたり6バンド（1樹3バンド、2樹設置）。  
11月20～27日に紙バンドを回収後、バンドあたりのカンザワハダニ及びナミハダニ越冬個体数を調査。同時に園あたり40短果枝を採取し、短果枝あたりのクワオオハダニ越冬卵数を調査。

## 2. 防除上注意すべき事項

秋期にハダニ類の発生量が多かった園では、越冬量が多いと予想されるため、休眠期の防除を徹底する。カンザワハダニ及びナミハダニには（1）～（3）、クワオオハダニには（3）が有効である。

### （1）誘殺バンドの取りはずし

主枝や垂主枝に誘殺バンドを設置している園では、12～2月にバンドを取りはずして処分する。

### （2）粗皮削り

12～2月に、カンザワハダニやナミハダニの越冬場所である粗皮を削り取る。特に、誘殺バンドを巻き付けた部分の粗皮は必ず削り取っておく。

### （3）薬剤散布

3月上～中旬に、マシン油97%乳剤の50～100倍液を散布する。